

平成 30 年 5 月 31 日

金沢区長

横浜市金沢区釜利谷南 2-8-1
社会福祉法人 すみなす会
理事長 木下 勝裕



平成 30 年度 柳町地域ケアプラザ事業計画書等について

平成 30 年度 柳町地域ケアプラザの事業計画に係る下記書類を提出します。

【施設名】

柳町地域ケアプラザ

【提出書類】

- (1) 平成 30 年度 柳町地域ケアプラザ事業計画書
- (2) 平成 30 年度 柳町地域ケアプラザ収支予算書
- (3) 平成 30 年度 自主事業計画書・収支計画書

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

【施設名】

柳町地域ケアプラザ

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- 担当地区は六浦の一部・六浦東・大川の 3 地区。どの地域も過去 5 年間をみると高齢化率は 3.8%～4.8%の上昇があった。
六浦地区・六浦東地区では高齢者がいる世帯の内、単身又は高齢者のみの世帯が 60%を超えており、地域の中で見守りや支えあいのしくみ作りが必要となっている。
大川地区は大規模なマンションが中心で、高齢化率はまだ低く 11%。担当エリアの中で柳町地域ケアプラザには来訪しにくい地区の一つとなっている。
- 担当地域内に外出等が不便な地域があるが、様々な情報が届くよう、ケアプラザでの企画だけではなく、出張講座等を積極的に行い支援を継続していく。
- 民生委員とのコミュニケーションをとることで情報の共有をし、課題の内容によっては地域ケア会議に繋げていく。
- 認知症の方を理解する為の認知症サポーター養成講座を子供から大人まで広く伝えていく。
- 近隣地域に障害児者の通所する施設が点在している。平成 30 年度は障害児者の理解促進の一つとして、近隣施設と協働で行事を行う。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 地域の身近な相談窓口として、高齢者・障害者・子ども等様々な分野の相談に応じ、必要な機関につなげたり、情報提供を行う。
- 広報紙等を通して、多世代に向けケアプラザの相談窓口という役割を改めて知ってもらい、気軽に来られるよう周知をしていく。また、主催する事業・後援会などの情報も発信していく。
- 子供から大人、障害児者等地域で暮らす誰もが交流できる場となるよう支援する。

(2) 各事業の連携

- 5 職種の連携会議を定例で実施し、常に情報交換をすることでお互いを理解し、協力体制を整える。
- 出張講座、認知症サポーター養成講座等、事業共催で開催する。
- 各事業で主催する事業を必要な利用者・団体に案内をし、参加に繋げる。その中で見守りや情報提供ができるよう協力体制をとる。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 各事業の人員配置基準に沿って、必要な資格要件を満たした職員を適正に配置する
- ケアプラザ内に研修委員会を設け、ケアプラザとして取り組むべき課題についての研修を立案・実施する。
法人全体での取り組みである階層別研修や人権研修、健康研修にも参加することで職員の育成をすすめる。また、自己研鑽として希望する研修には出来る限り参加できる環境を作る。
- 利用者・事業者を問わず公正・中立性を確保するための取り組みを継続する。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地域で開催される行事・お祭り・会議等に積極的に参加し、地域の方々との交流をとおり、地域ケアプラザへの意見・要望等を把握する。
また、自治会町内会・民生委員等との顔の見える関係を継続していくことで、地域住民の生活について必要な支援を行う。
- 地域ケアプラザの広報紙等を地域に配布することで、専門分野での講演会や介護予防講座などの情報を地域の方々に発信し、ネットワークの構築に繋げる。

(5) 区行政との協働

- 地域住民・民生委員からの情報提供により、地域の課題について内容を把握するよう努める。状況によっては行政と連携を取りながら、課題解決への取り組みを行う。
- 地域の方々からのご意見・要望・苦情等には適切に対応する。必要に応じて行政からの指示を仰ぎながら、課題解決に向けての対応を心がける。
- 地域福祉保健計画に沿った地域づくりができるよう、区役所や関係機関と連携を図る。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 地域のさまざまな方にケアプラザを知り、利用していただけるような自主事業を企画・実施していく。
- ウクレレ講座、フラダンス、健美ダンス等地域の方のご要望により開催する。
- 男性向け事業を秋頃に開催するために内容を検討していく。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 団体交流会、団体登録申込時等に貸館の利用が少ない時間を伝え、利用の提案をしていく。
- デイサービス、自主事業に限らず地域での活動披露の場を提案していく。
- 掲示板、広報紙等で団体紹介、メンバー募集を行い団体自体の活動が活発になるよう支援していく。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 広報紙、事業チラシ、法人HP等でボランティア活動を呼びかけていく。近隣の学校へもボランティア募集を行い、若い世代にも参加してもらえるようにしていく。
- ケアプラザ内に限らず、もりのお茶の間等地域で活動するボランティアを募集していく。
- 登録団体の方へボランティア活動を勧めていく。
- ボランティア交流会（感謝会）を年度末に開催する。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域の活動に参加し情報収集を行い、ケアプラザのPRを行う。
- ケアプラザの広報紙に地域の情報、行事を掲載していく。
- 登録団体間の交流と情報交換の場として団体交流会を開催する。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 引き続き、生活支援体制整備事業についての取組の内容、地域の現状を地域住民に周知していく。
- 生活支援体制整備事業をすすめていくうえで、コーディネーター連絡会等、各種会議に出席し、区役所、区社協、他地域ケアプラザと情報を共有できるようにする。
- 生活支援コーディネーターに必要な研修に積極的に参加し、知識を得られるよう努力する。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 地域活動交流・地域包括支援センターと連携し、地区ごとの生活課題やニーズを把握していく。
- 住民主体が行っている地域活動、民間業者が実施している生活支援サービスの情報を収集し、地域資源リストをまとめ、定期的に更新していく。
- 地域に不足している生活支援サービスを把握し、構築できるよう努力する。

(3) 連携・協議の場

- 地域で行われている連絡会や話し合いの場を活用した協議体を開催し、地域に必要な生活支援・介護予防につながる活動やサービスを創出できるよう努めていく。
- ケアプラザから遠方の地区で行われているサロンなどには定期的に参加し、区やケアプラザの情報を提供できるようにする。地域活動交流・包括支援センターと連携しながら講座を開催したり、包括職員に直接相談のできる機会を設けられるよう働きかけていく。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- コーディネーター連絡会や研修、会議等に参加することで区役所、区社協、他のケアプラザと情報を共有していく。特に近隣のケアプラザとは連絡会等に参加したり、話し合いの機会を設けることで情報共有を密にし、より広域の地域課題を把握し、解決に取り組めるよう努力する。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 地域包括支援センター内で1回/月、その他必要時、様々な視点からの検討を行い、連携を図りながら問題解決に向けて取組む。また、地域活動交流事業・生活支援体制整備事業とも連携を図りながら多職種の視点で地域の課題について共有し、ネットワーク構築に繋げる。
- 個別課題から地域の課題を発掘し、問題解決を図るため、個別ケース地域ケア会議を3回/年、包括レベル地域ケア会議を1回/年実施する。個別ケース課題の検討を多職種協働で実施することで、個別課題から地域の課題発掘に努め、支援体制の構築を目指す。今まで実施したことがないエリアの個別ケース会議を行い、新たな地域課題の発掘に努める。
- 地域ケア会議や地域の連絡会等を通して、地域の社会資源やネットワークづくりに取組む。日頃から関係機関と連携を図る中で関係づくりを行い、協力体制の構築を図る。

② 実態把握

- 区の高齢者支援担当との連絡会を毎月実施し、地区の状況や相談ケースについて情報交換・情報共有を行う。こまめに連絡を取り合う中で必要に応じて検討を行い、連携を図って対応する。
- 民生委員、自治会、老人会の方々との関係づくりを行い、地域の高齢者の情報を把握する。それぞれの会合に1回/年は参加するよう努める。その中で地域包括支援センターの役割を周知し、相談しやすい状況を作る。
- 地域の会合等に参加する中で、地域の方や高齢者から話を伺い、ニーズや課題の把握に努める。また、地域の方が気になる高齢者の把握・介入に繋げる。
- 相談内容の分析を行い、エリアによる特徴がないかを探る。

③ 総合相談支援

- 地域の高齢者が、住み慣れた地域でご本人が望む生活を続けられるよう、様々な相談に応じ、必要な情報提供を行う。介護保険、医療、インフォーマルサービス等にスムーズに繋がるよう支援していく。相談から必要な支援への移行ができるよう、ワンストップサービス窓口としての機能を果たす。
- 地域活動交流事業・生活支援体制整備事業との連携を図り、機会を捉えて地域に赴き、地域の身近な相談窓口としての役割を周知する。相談しやすい状況を作るために、顔の見える関係づくりを積極的に行う。
- 区や福祉保健関係者、関係機関と日頃から関係作りを行い、必要な情報共有を行いながら、連携して包括的支援を行う。
- 直接的な支援に繋がらないケースについても、定期的に状況を確認しながら見守り等のフォローを行い、支援のタイミングを逃さないようにしていく。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 権利が侵害されていることに気づきにくい方々、自己決定に基づく契約が難しい方々の権利を守るために、本人の意志による自己決定か見極め、権利が侵害されないよう適切に介入を行う。必要に応じてあんしんセンターや成年後見制度などの支援に繋げる。
- 成年後見サポートネットに参加し、他職種との連携・情報共有を図る。困難ケースについては専門家に相談し、必要時は連携を取りながら適切に支援する。
- 年1回成年後見制度についての講座を六浦地域ケアプラザと合同で開催し、周知を図る。必要と思われる方には申し立ての支援を行う。地域での講座などでも周知していく。
- 年1回消費者問題について講座を六浦地域ケアプラザと合同で開催し、被害の防止に努める。被害の報告を受けた際は、状況に応じて警察・消費者センターなどへの相談・報告を行う。

② 高齢者虐待への対応

- 自ら助けを求めにくい高齢者の方々が安心して安全に生活することができるよう、区や関係機関の方々と連携して問題に取り組む。セルフネグレクトと思われるケースについては、信頼関係を築きながら介入のタイミングを逃さないように努める。
- 日頃から区やサービス事業者、民生委員等関係機関との関係づくりや情報交換を行い、問題の早期発見につながるよう努める。問題が発見された際は区と連携を取りながら迅速に対応する。
- 介護者が孤立した状態にならないよう介護者のつどいを毎月開催し、情報提供や介護者の心身の負担軽減とリフレッシュを図る。必要に応じて個別にフォローする。今年度も自ら相談しにくいと思われる男性介護者のつどいを年2回開催する。
- 年1回六浦地域ケアプラザと合同で虐待についての講座を開催し、周知を図る。認知症の方を介護することとかわりが多いことを踏まえ、認知症についての講座の中でも伝える機会を設ける。

③ 認知症

- 地域の中で認知症を理解して支援する人々を増やし、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えるために、地域活動交流事業と共催で認知症サポーター養成講座を保育園・大学・地域等で実施する。
- 出張講座のチラシを作成し、近隣の事業所に配布する。
- はいかい高齢者 SOS ネットワークに参加し、関係機関との情報共有・関係づくりを行う。また、今必要と思われる方・将来的に必要と思われる方には情報提供を行い、登録を勧める。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 包括主催の講座や町内会から依頼を受けて開催する各種制度の説明会を実施して、介護保険制度やサービス、ケアマネジャーの役割を周知する。
- 地域の民生委員や保健活動推進委員との連携、情報収集を行い、ケアマネジャーへ情報提供、共有を行う。
- 総合相談窓口として地域住民が関わりやすい環境を整え、ケアマネジャー、関係機関と地域住民との顔の見える関係、ネットワーク構築の取組みに繋げる。

②医療・介護の連携推進支援

- 区内の主任ケアマネ部会と協働で、医療機関、三師会、在宅医療相談室と連携した様々な研修等に関わり、地域医療、介護連携を推進する。
- 医療機関で開催される研修に参加、事業所を個別に訪問し、情報交換を行う。
- 利用者を介しての担当者会議などに可能な限り参加することで、医療や介護との密接な連携を図る。
- 協力医と連携を図り、個別ケースの検討や地域の方を対象にした医療講演会を開催する。

③ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーからの相談に応じ、困難ケースなどの個別検討を行い、課題の整理・解決に向けて支援する。必要に応じて同行訪問やサービス担当者会議の同席や開催支援及び情報提供を行う。
- 事業所訪問による情報提供、相談支援、多職種による連携支援に繋げる。
- 新任ケアマネジャーへスキルアップ、介護保険最新情報や地域の状況を反映した研修等の案内やアドバイスを行う。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ケアプラザ5職種協働で実施する連絡会等を通して情報の共有化をはかり、地域に活かせるネットワークの構築に努める。
- 地域ケア会議を定期的実施し（個別ケース地域ケア会議3回／年、包括レベル地域ケア会議1回／年）、その中で行政・民生委員・医療機関・サービス事業所とのネットワーク構築を図り、多職種協働に繋げる。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 高齢者が住み慣れた地域で要介護状態になることを防ぎ、自立した生活を送るために、ご本人が望む生活をイメージできるような介護予防サービス・支援計画書を作成する。
- 委託時、委託先の居宅介護支援事業所に対して、必要に応じて介護予防支援計画書等に関する支援・助言を行う。
- 地域のインフォーマルサービスの把握を行い、必要と思われる方へ提供できるような情報を収集・整理する。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

○介護予防普及啓発事業

介護予防講座（ロコモティブシンドローム予防のための運動講座、口腔講座、栄養講座、認知症講座）を、身近な場所で参加出来るように、地域の町内会館や集会所で連続講座として実施する。町内会や民生委員等の協力を得ながら、老人会や地域の高齢者等が集まる場所で、介護予防の講話や情報提供を行う。

○地域介護予防活動支援事業

元気作りステーション「柳町 IN コグニ」（認知症予防自主グループ）の継続的活動が出来るように、区の保健師と支援していく。介護予防講座開催時に周知するなど新たなメンバーの募集等を行う。

又、お元気作りステーション「むつうら」（健康麻雀）の活動を自主化に向けて区の保健師と共に支援していく。

その他

--

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ①建物の設備・維持管理等に関しては、専門業者による定期的な保守管理と、職員による日々の目視点検で確認を行う。(年1回)
- ②施設内清掃は専門業者に委託する。業者が休みの場合は、職員による清掃を行い、清潔を保つ。(日・祝休み)
- ③破損部分や汚れに関しては、専門業者に相談し補修・清掃を行う。
- ④その他、空冷ヒートポンプパッケージ等の点検や送風機設備点検・換気扇点検・自動ドア点検・消防設備点検等を年1～4回実施する。

イ 効率的な運営への取組について

- ①節電に努める。廊下や使用頻度の低い場所では、可能な限り蛍光灯の本数を減らして対応する。また、貸館利用者への空調使用時の節電を心がけて頂く。
- ②トイレ等でのペーパーの使用も最小限にして頂く旨を周知徹底していく。
- ③メモ用紙・施設内回覧等に関しては裏紙を利用し、経費節減に繋げる。
- ④行政提出書類・会議等での資料は、製本印刷又は両面印刷とする。

ウ 苦情受付体制について

- ①施設内に設置してあるご意見箱の設置場所を検討し、より多くの利用者に関心を持ってもらい、多くの意見等を求める。また、意見や要望等を書きやすい様式を用意する。
- ②苦情やご意見・要望などに対しては、内容の確認を行い速やかに対応策を検討する。(苦情内容の記録・必要に応じて法人内苦情解決第三者委員会への報告など)

エ 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

- ①特別避難場所・津波避難施設として、要援護者の為の備蓄品等を定期的を確認し、万全な体制を整える。
- ②防災・避難訓練を年2回行い、緊急時における職員の対応方法についての訓練(研修)を実施していく。
- ③特別避難場所としてのマニュアル(介護用・医療用)の内容の周知を図る。

オ 事故防止への取組について

- ①事故防止マニュアルの見直しと周知を図る。
- ②ヒヤリハットの報告は必ず行い、内容についての報告・検討会を開催し、今後の事故防止に繋げる。(通所介護事業会議・ケアプラ会議等)
- ③運転者の免許証等は、随時提出を義務付ける。(更新時は、その都度提出を促す)
- ④事故発生時は、速やかにマニュアル通りの対応を行い、必要機関等への報告を行う。(書式の作成も行う) また、個人情報等には十分に注意を払う。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①地域ケアプラザ個人情報漏えいチェックシートを活用し、職員全員のチェックを行い漏えい防止に繋げる。
- ②個人情報に関する書類等は、鍵のかかる書庫や金庫に保管する。
- ③すべての施設内使用パソコンは、盗難防止対策として鍵付きワイヤーで机に固定する。
- ④ファックス使用時は、個人情報部分へマスキングし、送信時は必ず職員同士で確認を行い、誤送信等の防止に努める。
- ⑤業務終了後は、個人情報に関する書類すべて鍵のかかる書棚に保管する。

キ 情報公開への取組について

- ①法人全体のホームページにて、新しい情報を積極的に地域へ発信する。
- ②施設内の掲示物の整理整頓を行い、活動や企画を提供し、参加者増に繋げる。
- ③事業チラシ等に関しては、地域の学校や町内会館に持参し、配布依頼する。また、地域での講座や研修会の際に新たな企画参加への案内を行う。

ク 人権啓発への取組について

- ①法人全体で実施される人権研修への参加
年1回実施される法人主催の人権研修に、常勤・非常勤の全職員の参加を徹底する。
やむを得ず参加できなかった職員に対しては、資料を基に研修を行う。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ①建物内の清掃やゴミの処理は、すべて専門業者に委託し清潔を保持する。
- ②施設内のごみは、すべて分別処理を行う。
- ③敷地内の植栽に関しては、年2回専門業者に依頼する。また、花壇は近隣地域の商店に整備を依頼し、季節ごとの花々の手入れをし施設の出入り口の環境整備をする。
- ④ケアプラザ周辺のゴミ拾い・ゴミ置き場の清掃を行い、美化に努める。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

包括支援センター 職員 3名（うち1名が管理者兼務）
介護支援専門員 非常勤 1名

《目標》

- 高齢者が住み慣れた地域で、要介護状態になることを防ぎ、地域で自立した生活を送るために、ご本人の意向を尊重した介護予防サービス・支援計画書を作成する。
- 委託時、委託先の居宅介護支援事業所に対して、必要に応じて介護予防支援計画書や支援内容等に関する支援・助言を行う。
- 地域のインフォーマルサービスの情報把握に努め、必要と思われる方に提供し、参加を促していく。

《実費負担》

- 事業者の担当地域外を訪問する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域活動交流部門と連携を取りながら、自主事業への参加を促す。また、参加された際は状況の把握を行い、継続した支援に繋げる。
- インフォーマルサービスについて情報提供を行い、ご本人の楽しみ・生きがいにつながるよう支援していく。
- 地域との連携を取ることで、見守りにつながるような関係づくりを図る。

《利用者目標》

【単位：人】					
4月	5月	6月	7月	8月	9月
145	145	145	150	150	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	150	150	150

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員		4名
内訳	常勤	3名(うち1名は管理者兼務)
	非常勤	1名

《目標》

- 課題整理総括表の活用に習熟し、ケアプラン作成の根拠を文字化できるようにする。
- 外部研修に積極的に参加し、ケアマネジメントスキルの向上を図ると共に、他事業所のケアマネジャーとの交流を持つ。
- スーパービジョン技術の向上を図り、事例検討に生かす事ができる。

《実費負担》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 特定事業所加算Ⅲ取得事業所として、毎週の会議を実施し、ケースの共有、支援困難ケースへの対応などを検討している。
- ケアプラザ併設の居宅として、特に支援困難ケースについては積極的に対応するようにしている。

《利用者目標》

4月	5月	6月	7月	8月	【単位:人】
100	100	103	103	106	106
10月	11月	12月	1月	2月	3月
109	109	112	112	115	115

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 運動器機能向上
- 体操

《実費負担》

- 1割負担分
 - (要介護1) 692円
 - (要介護2) 816円
 - (要介護3) 947円
 - (要介護4) 1,076円
 - (要介護5) 1,205円
- 食費負担 700円
- 入浴 54円
- 個別機能訓練 60円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位に5.9%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
介護職員	9名
看護師	5名
運転手	5名

《目標》

- 利用者が充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がける。
- 利用者各人の趣味や特技を生かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートする。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図る。
昼食献立はイベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂く。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図る。
（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 定期的(月に3日程度)に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて保育園児との交流を図る。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
700	700	700	700	700	700
10月	11月	12月	1月	2月	3月
700	700	700	700	700	700

● 介護予防通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 運動器機能向上
- 体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1,766円
 - （要支援2） 3,621円
- 食費負担 700円
- 運動器機能向上加算 242円
- サービス提供体制強化加算
 - （要支援1） 78円
 - （要支援2） 155円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位5.9%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ～ 16:40

《職員体制》

管理者 1名
生活相談員 3名
介護職員 9名
看護師 5名
運転手 5名

《目標》

- 利用者が充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がける。
- 利用者各人の趣味や特技を生かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートする。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図る。
昼食献立はイベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂く。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図る。
（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 定期的（月に3日程度）に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて保育園児との交流を図る。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50	50	50	50	50	50
10月	11月	12月	1月	2月	3月
50	50	50	50	50	50

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 体操
- レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 1. 072円
 - (要介護2) 1. 188円
 - (要介護3) 1. 305円
 - (要介護4) 1. 422円
 - (要介護5) 1. 539円
- 食費負担 700円
- 入浴 55円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位の10.4%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

- 管理者 1名 (常勤)
- 生活相談員 3名 (常勤2、非常勤1)
- 介護職員 8名 (常勤兼務2、非常勤6)
- 看護師 5名 (非常勤5)
- 運転手 5名 (非常勤5)

《目標》

- 各個人を尊重し、気持ちに寄り添ったきめの細やかな対応をしていく。
- 身体を動かす事で脳の活性化に繋げ、長く在宅で過ごして頂けるよう支援する。
- 会議にて利用者の細かい情報を共有し、常に適切なケアに努める。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 季節を感じられる、屋外での歩行訓練やおやつレク、園芸活動を行う。
- 個人の趣味嗜好を活かした手作業を行い、残存機能を維持できるよう支援する。
- 年に2回の運営推進会議にて、地域の方や利用者のご家族と意見や情報の交換また、施設や活動見学も行う。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8	8	8	8	8	8
10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	8	8	8	8	8

● 介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 体操
- レクリエーション

《実費負担》

- 1割負担分
 (要支援1) 927円
 (要支援2) 1,036円
- 食費負担 700円
- 入浴 55円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位に10.4%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

- 管理者 1名 (常勤)
- 生活相談員 3名 (常勤2、非常勤1)
- 介護職員 8名 (常勤兼務2、非常勤6)
- 看護師 5名 (非常勤5)
- 運転手 5名 (非常勤5)

《目標》

- 各個人を尊重し、気持ちに寄り添ったきめの細やかな対応をしていく。
- 身体を動かす事で脳の活性化に繋げ、長く在宅で過ごして頂けるよう支援する。
- 会議にて利用者の細かい情報を共有し、常に適切なケアに努める。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- 季節を感じられる、屋外での歩行訓練やおやつレク、園芸活動を行う。
- 個人の趣味嗜好を活かした手作業を行い、残存機能を維持できるよう支援する。
- 年に2回の運営推進会議にて、地域の方や利用者のご家族と意見や情報の交換また、施設や活動見学も行う。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

《利用者目標(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

平成30年度「横浜市柳町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,272,613		17,272,613	17,272,613	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	450,000		450,000	0	450,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	450,000		450,000	0	450,000	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,722,613	0	17,722,613	17,272,613	450,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,327,000		11,327,000	0	11,327,000	
本俸	8,000,000		8,000,000	0	8,000,000	
社会保険料	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
手当計	2,027,000		2,027,000	0	2,027,000	
健康診断費	27,000		27,000	0	27,000	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	0	6,000	マツルホランド
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	267,000		267,000	0	267,000	
事務費	996,800		996,800	0	996,800	
旅費	25,000		25,000	0	25,000	
消耗品費	140,000		140,000	0	140,000	
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	0	50,000	
通信費	350,000		350,000	0	350,000	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	0	50,000	
職員等研修費	30,000		30,000	0	30,000	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	150,000		150,000	0	150,000	
手数料	9,000		9,000	0	9,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	191,800		191,800	0	191,800	
事業費	1,055,000		1,055,000	0	1,013,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,013,000		1,013,000	0	1,013,000	
管理費	3,443,813		3,443,813	0	2,193,813	
建築物・建築設備点検	65,829		65,829	0	65,829	予算・指定額
光熱水費	1,250,000		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	700,000		700,000	0	700,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	56,000		56,000	0	56,000	
設備保全費	870,000		870,000	0	870,000	
空調衛生設備保守	510,000		510,000	0	510,000	
消防設備保守	92,000		92,000	0	92,000	
電気設備保守	63,000		63,000	0	63,000	
害虫駆除清掃保守	40,000		40,000	0	40,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	165,000		165,000	0	165,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	27,984		27,984	0	27,984	
公租公課	900,000	0	900,000	0	900,000	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	900,000		900,000	0	900,000	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
ニーズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,722,613	0	17,722,613	0	16,430,613	
差引	0	0	0	17,272,613	△ 15,980,613	

自主事業費収入	1,013,000		1,013,000	0	1,013,000	
自主事業費支出	1,013,000		1,013,000	0	1,013,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市柳町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	22,658,802		22,658,802		22,658,802	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	148,000		148,000		148,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業 (包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業 (介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業 (生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	15,000	0	15,000		15,000	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理充当)	15,000		15,000		15,000	
その他 (提案時控除 法人負担)	0		0	0	0	
収入合計	28,610,802	0	28,610,802	0	28,610,802	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,244,316	0	24,244,316	0	24,244,316	
本俸	16,731,200		16,731,200		16,731,200	
社会保険料	3,580,000		3,580,000		3,580,000	
手当計	3,188,116		3,188,116		3,188,116	
健康診断費	47,000		47,000		47,000	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	674,000		674,000		674,000	
事務費	1,911,000	0	1,911,000	0	1,911,000	
旅費	70,000		70,000		70,000	
消耗品費	140,000		140,000		140,000	
会議随費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	240,000		240,000		240,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	230,000		230,000		230,000	
職員等研修費	60,000		60,000		60,000	
振込手数料	11,000		11,000		11,000	
リース料	150,000		150,000		150,000	
手数料	20,000		20,000		20,000	
地域協力費	30,000		30,000		30,000	
その他	840,000		840,000		840,000	
事業費	1,463,000	0	1,463,000	0	1,463,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
指定管理料充当自主事業 (包括)	685,000		685,000		685,000	
指定管理料充当事業 (介護予防)	148,000		148,000		148,000	
指定管理料充当自主事業 (生活支援)	0		0		0	予算：指定額
管理費	992,486	0	992,486	0	992,486	
建築物・建築設備点検	17,486		17,486		17,486	予算：指定額
光熱水費	400,000	0	400,000		400,000	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	191,000		191,000		191,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
機械整備費	15,000		15,000		15,000	
設備保全費	233,000	0	233,000	0	233,000	
空調衛生設備保守	136,000		136,000		136,000	
消防設備保守	25,000		25,000		25,000	
電気設備保守	17,000		17,000		17,000	
害虫駆除清掃保守	11,000		11,000		11,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	44,000		44,000		44,000	
共益費	0		0		0	
その他	10,000		10,000		10,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	28,610,802	0	28,610,802	0	28,610,802	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市柳町地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3320		3320	23290		23290	73810		73810	7770		7770	37250		37250
	その他	0	0	0	0	0	0	816	0	816	0	0	0	253	0	253
	介護予防ケアマネジメント費	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	利息	0		0	0		0	216		216	0		0	73		73
	雑収入	0		0	0		0	600		600	0		0	180		180
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	収入合計(A)	3320	0	3320	23290		23290	74626		74626	7770	0	7770	37503	0	37503
支出	人件費	3054		3054	21750		21750	54400		54400	0		0	24750		24750
	事務費	191		191	805		805	4480		4480	0		0	1497		1497
	事業費	25		25	0		0	12610		12610	0		0	4870		4870
	管理費	50		50	150		150	9600		9600	0		0	3000		3000
	その他	0	0	0	0	0	0	716	0	716	0	0	0	252	0	252
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	消費税	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	介護予防プラン委託料	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	0		0	0		0	716		716	0		0	252		252
支出合計(B)	3320	0	3320	22705	0	22705	81806	0	81806	0	0	0	34369	0	34369	
収支(A)-(B)	0	0	0	585	0	585	-7180	0	-7180	7770	0	7770	3134	0	3134	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
会話カフェ	高齢者の居場所作りと見守りを目的とした事前予約なしのお茶のみサロン。高齢者だけでなく、子育て中の親子等も立ち寄って様々な方との交流できる場とする。 毎月15日13時～15時に開催。 ケアプラザの事業案内、ちょこっと情報等や、参加者同士が会話ができる時間を設定する。	毎月15日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あかちゃんと いっしょ	1歳前後の子どもと養育者を対象にした子育て講座と母親同士の繋がり作りの場を設定。 10時から11時ミニ講座。 その後偶数月はどんぐりころちゃんの読み聞かせ。14時までフリースペース。 見守りを偶数月は六浦地区、奇数月は六浦東地区の保健活動推進員さんに依頼。	毎月第3金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事会ほっとす ぺーす	概ね65歳以上の高齢者の居場所作りと見守り、安心安全な食材を使用した食事会をワーカーズ・コレクティブ・コンパスと開催。 30分の催し物の他に地域交流からのお知らせ、包括支援センターからの情報提供等を行う。	毎月第1木曜日 計12回 祝日の場合は週をずらして開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレン ジメント	地域の高齢者を対象に心身機能の回復と花と触れ合うことでのリラクゼーション効果、またケアプラザが地域との接点、交流の場になることを目的とする。	毎月第1火曜日 計12回 祝日、12月等は日程を変更する場合あり

平成30年度 自主事業計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おひさま広場	家庭と学校、施設、作業所以外に地域での活動の機会が少ない障がいのある方を対象に社会参加の機会を提供する。 2か月おきに3B体操、工作の講師を依頼し活動後はおやつを皆で食べる。	毎月第2火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとランチ	高齢者に限らず地域の様々な世代の方にもケアプラザに足を運んでいただくための食事会。 ケアプラザでの開催時は登録団体にボランティアを依頼する。 地域から依頼があれば蕎麦打ち団体「いけ麺クラブ」の協力を得て出張蕎麦の会を開催する。 8月頃にカレー 3月頃に食事会	ケアプラザ開催 8月、3月頃 依頼があれば町内会で開催する

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	南共済病院の医師を講師としてお招きし、地域住民に正しい医療情報を発信、提供し病気の早期発見と予防につなげることを目的として開催する。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体交流会	柳町地域ケアプラザ利用登録団体の交流、懇談の場として開催。今年度も各団体2名の参加を依頼し、貸館の清掃、貸館マニュアルの説明をする。	年1回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
てくてくかなざわ	地域の方を対象に（主に高齢者）手軽に始められるウォーキング。講師に横濱金澤シティガイド協会を依頼。自分たちの街を再確認し、仲間と交流する機会を設定する。解散後は希望者で昼食を取り親睦を深める。 6月はシーサイドライン周辺の見学。 2回目は秋ごろ開催予定。 事業開催後のおしゃべりカフェで事業時のスライド上映を行う予定。	6月、秋ごろを予定 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
木工クラフト	講師、ボランティアを地域の方に依頼し、異世代交流と小学生、及び幼児の地域活動の場づくりとして開催する。人気があるため7月、8月に計2回開催。 木工と竹細工の2種類から好きなものを選び作っていく。	7、8月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レゴパーク	小学生を対象として家庭とは違う広い場所でレゴブロックを使って遊んでもらう。 乳幼児も保護者の見守りがあれば参加可能。	休館日を除く夏休み期間毎週月曜日 ほっとランチ、ケムケム座公演、子育てイベント時にも開催 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
輪飾り作り	お正月の輪飾り作りを体験しながら地域住民同士の交流をはかっていただく。	12月1回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学生お菓子作り	小学生対象のお菓子作り体験講座。 父の日、クリスマス、バレンタインに簡単なお菓子作りを通して参加児童同士の交流とケアプラザへ来るきっかけ作りのために開催。 6月は「父の日クッキー」作り 12月は「カップケーキ」作り 2月は「ブラウニー」作り 焼成後の冷ましている間にその場で食べるおやつをみんなで作り食べ、持ち帰りお菓子を袋詰めを行う。	6月、12月、2月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	日頃ケアプラザでボランティア活動をしてくださっている方に対し、感謝の気持ちを込めて感謝会を開催する。 自己紹介、昼食（カレーライス）、ケアプラザのボランティアに関すること。いきいきポイントの説明、情報交換を行いさらに活動していただけるようにはたらきかける。	3月計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てフリースペース	乳幼児とその保護者を対象としたフリースペースとして開催する。情報交換、交流の場として開催する。	毎月第4金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケムケム座公演	過去にケアプラザの子育て支援事業に参加していた乳幼児とその養育者に再びケアプラザへ遊びに来てもらうきっかけとして開催する。 年2回、登録団体「ケムケム座」に公演を依頼。 7月「あいしてくれて ありがとう」、12月未定。	7月、12月 計2回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもイベント	過去にケアプラザ事業に参加していた乳幼児とその養育者に再びケアプラザへ遊びに来てもらうきっかけとして開催。 六浦地区社協「ハイハイくらぶ」との共催事業。	3月頃1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めてのウクレレ講座	参加者間の交流、楽器を演奏することの楽しさ、ケアプラザとその周辺の町内会、施設等でも発表の場が提供できるように開催。	毎月第2、4土曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラダンス講座	地域でいつまでも健康で元気に過ごせるよう、体と頭を活発に動かすフラダンス講座を開催する。 講座は4月のみ自主事業で、5月からは希望者の方で自主グループ化をしケアプラザに団体として活動していただく。	4月の毎週金曜日 19:00～20:30 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健美ダンス	地域でいつまでも健康で元気に過ごせるよう、優雅な音楽に合わせて美しい姿勢で踊るダンスの講座を開催する。 講座は6月、7月のみ自主事業で、以降はご希望があれば自主グループ化をしケアプラザに団体として登録、活動してしていただく。	6月、7月第1、2、4火曜日 計6回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歴史の会	主に男性を対象とした歴史を学ぶ会。横濱金澤シティガイド協会の方を講師依頼。	秋頃から開催予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内合同サマーフレンド	夏休み期間中に区内9ケアプラザ合同で障害がある小・中学生を対象に余暇支援プログラム。外出プログラムとして山下公園方面、泥亀ケアプラザでラーメン作りと夏祭りを行う予定。	8月計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市大学生対象ボランティア実践講座	横浜市大の学生を対象としたボランティア養成講座。ボランティアへの心構え、先輩ボランティアの話、ケアプラザの説明を行い、ケアプラザのボランティア活動プログラムへ参加していただく。	4月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
会話カフェ	高齢者	¥84,000	地活	¥48,000	¥36,000	¥0	¥0	¥48,000	¥36,000
	360人		包括	¥0					
	100円		生活	¥0					
あかちゃんといっしょ	乳幼児と養育者	¥50,976	地活	¥44,976	¥6,000	¥0	¥44,976	¥6,000	¥0
	240人		包括	¥0					
	無料～200円		生活	¥0					
食事会ほっとすぺーす	高齢者	¥266,724	地活	¥86,724	¥180,000	¥0	¥0	¥180,000	¥86,724
	300人		包括	¥0					
	600円		生活	¥0					
フラワーアレンジメント	高齢者	¥222,000	地活	¥18,000	¥204,000	¥0	¥0	¥204,000	¥6,000
	204人		包括	¥0					
	1000円～1500円		生活	¥0					
おひさま広場	障がい児者	¥69,408	地活	¥50,208	¥19,200	¥0	¥51,408	¥18,000	¥0
	96人		包括	¥0					
	200円		生活	¥0					
ほっとランチ	地域の方	¥66,728	地活	¥42,728	¥24,000	¥0	¥0	¥56,728	¥10,000
	80人		包括	¥0					
	300円		生活	¥0					
医療講演会	地域の方	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	40名		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
団体交流会	地域の方	¥6,260	地活	¥6,260	¥0	¥0	¥0	¥4,000	¥2,260
	40人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
てくてくかなざわ	地域の方	¥22,000	地活	¥10,000	¥12,000	¥0	¥20,000	¥0	¥2,000
	40人		包括	¥0					
	300円		生活	¥0					
木工クラフト	子ども	¥9,000	地活	¥9,000	¥0	¥0	¥0	¥3,000	¥6,000
	40人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
レゴパーク	子ども	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	12人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
輪飾り作り	地域の方	¥27,000	地活	¥1,500	¥25,500	¥0	¥0	¥27,000	¥0
	17人		包括	¥0					
	1500円		生活	¥0					
小学生お菓子作り	子ども	¥19,000	地活	¥11,800	¥7,200	¥0	¥0	¥19,000	¥0
	24人		包括	¥0					
	300円		生活	¥0					
ボランティア感謝会	地域の方	¥12,000	地活	¥12,000	¥0	¥0	¥0	¥12,000	¥0
	20人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
子育てフリースペース	乳幼児と養育者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	144人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ケムケム座公演	乳幼児と養育者	¥20,000	地活	¥20,000	¥0	¥0	¥11,136	¥0	¥8,864
	100人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
子どもイベント	乳幼児と養育者	¥9,928	地活	¥9,928	¥0	¥0	¥5,568	¥0	¥4,360
	40人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
初めてのウクレレ講座	地域の方	¥122,507	地活	¥12,507	¥110,000	¥0	¥122,507	¥0	¥0
	110人		包括	¥0					
	1000円		生活	¥0					
フラダンス講座	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	60人		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
健美ダンス	高齢者	¥33,410	地活	¥3,410	¥30,000	¥0	¥33,410	¥0	¥0
	60人		包括	¥0					
	1500円		生活	¥0					
歴史の会	地域の方	¥22,272	地活	¥2,272	¥20,000	¥0	¥22,272	¥0	¥0
	40人		包括	¥0					
	500円		生活	¥0					
区内合同サマーフレンド	障がい児	¥5,000	地活	¥12,000	¥17,000	¥0	¥0	¥5,000	¥0
	13人		包括	¥0					
	1000円、1500円		生活	¥0					
横浜市大学生対象ボランティア実践講座	その他	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	30名		包括	¥0					
	無料		生活	¥0					
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						